Panasonic

デジタルディスクレコーダー

品番　WJ-HL216B, WJ-HL208B

簡単操作ガイド

基本的な操作、画面の見かた

本機は、**前面パネル**のボタンまたは本機前面に接続した**マウス**（別売）で操作します。

前面パネルからの操作　十字ボタンでカーソル(強調表示)を移動して、決定ボタンを押して実行

マウスからの操作　マウスポインターを選択したい位置に合わせて左クリックして実行

ライブ監視モード
(ライブ監視メニュー)

①ログイン/ログアウト
②モニター選択
③多画面選択
④画面送り(前)
⑤画面送り(次)
⑥フリーズ
⑦アラーム復帰
⑧緊急録画
⑨シーケンス
⑩カメラ設定
⑪検索
⑫設定
⑬状態

「全てのカメラ」

検索モード
(検索メニュー)

検索
時間指定検索
ブックマーク
多画面選択
画面送り(前)
画面送り(次)
アラーム復帰
緊急録画
カメラ設定
保存
状態
メディア選択
終了

メニューを表示するには
- 前面パネルの［設定］ボタンを押す
- マウスポインターを画面右端へ移動する

情報バー：日付/時刻、ユーザー名、残容量（上書き時は ）、画面グループ番号、フリーズ 、シーケンス 、ネットワークの状態 を表示

ライブ監視メニュー

①ログイン/ログアウト
ログアウト状態 ⇒選択してログイン
ログイン状態　⇒選択してログアウト

②モニター選択
メインモニターとスポットモニターを切り替え

③多画面選択
表示パターンを選択して多画面に切り替え
(4×4はHL216Bのみ)

④⑤画面送り
で前画へ戻る、 で次画へ送る

⑥フリーズ
画面を停止（静止画表示）、再度選択で解除

⑦アラーム復帰
アラーム出力と内蔵ブザーを停止

⑧緊急録画
全カメラ録画開始、再度選択で停止

⑨シーケンス
あらかじめ設定したシーケンス動作を開始、再度選択で終了

⑩カメラ設定
PTZ操作(RS485制御)、電子ズーム、音声出力ON/OFF、色調整(輝度、コントラスト、彩度、色相)、多画面編集の各モードを選択

⑪検索
全てのカメラ：検索モードへ移行
トリプレックス：再生画とライブ画を同時表示

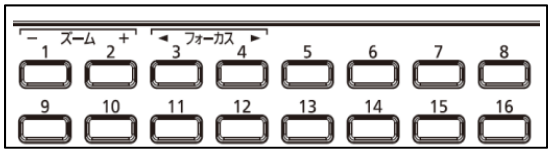
⑫設定
システムの設定画面へ移行

⑬状態
各種イベントの発生状態やハードディスクの状態を確認する状態画面へ移行

カメラを選択する・表示を切り換える

カメラを選択してライブ画像を表示するには

前面パネル カメラボタンを押す
または
マウス 多画面上のカメラ画像を選択する



前面パネルのカメラボタン
（WJ-HL208Bは上段1～8のみ）

多画面を表示するには

前面パネル ［多画面選択］ボタンを押す
⇒ 押すたびに表示パターンを切り換える
または

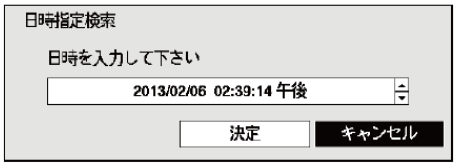
マウス 画面右端のメニューの（多画面選択）➡ 表示パターン の順に選択する
表示パターン：（PIP）（2x2）（1+5）（1+7）（3x3）（4x4）
（4×4はWJ-HL216Bはのみ）

再生する

日時を指定して再生する

1 検索メニューの（時間指定検索）➡「日時指定検索」の順に選択する

2 検索日時を変更して、「決定」を選択する
⇒ 指定した日時で再生を開始します。



タイムラインから指定して再生する

1 検索メニューの（検索）➡「録画テーブル検索」の順に選択する
⇒ 録画テーブル検索画面を表示します。

2 再生位置マーク「」を移動させて再生位置を決め、▶（再生）を選択する
⇒ 指定した日時で再生を開始します。

3 日付を変更する場合は、左下の を選択する
⇒ カレンダー検索画面が表示されます。

4 カレンダーから日付を選択する
⇒ 選択した日付の最初の録画画像が静止画で表示されます。

- 録画映像がある日付は太字で表示されます。
- カレンダーの月を切り替える場合は、＜＞を選択します。

履歴から選択して再生する

1 **前面パネル** ［アラーム］ボタンを押す

または

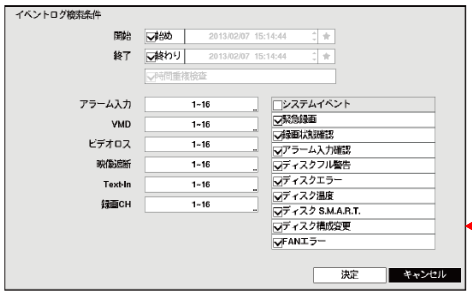
マウス 検索メニューの（検索）➡「イベントログ検索」の順に選択する

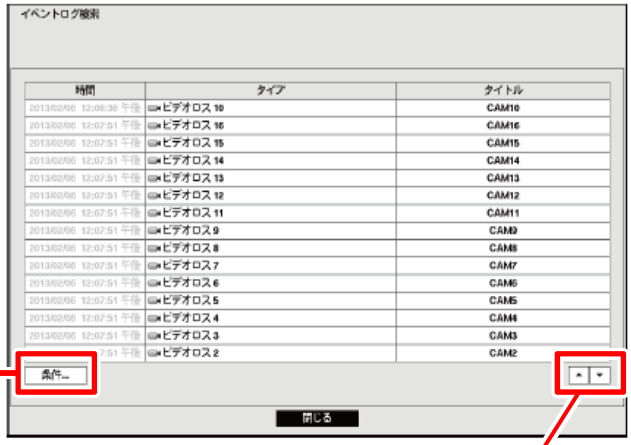
⇒ イベントログ検索画面を表示します。

2 再生したいイベントの日時部分を選択する

⇒ 選択したイベントの最初の画像を表示します。

条件で絞り込む場合：
絞り込み条件を入力して「決定」を選択する



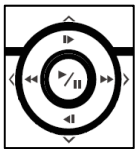


ページ切換

再生中の操作

前面パネル

または



十字ボタン、再生ボタンの機能は次のとおりです。

- 前の画像に戻る
- 再生/一時停止
- 次の画像に進む
- 高速巻き戻し再生
- 早送り再生

マウス マウスポインターを画面下端に移動すると再生バーが表示されます。

- 前の画像に戻る
- 再生/一時停止
- 次の画像に進む
- 高速巻き戻し再生
- 早送り再生

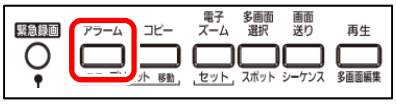
●早送り再生、高速巻き戻し再生の再生速度は、表示画面数によって以下のように変わります。
　１画面表示時：通常速度 ⇒ 約5倍速 ⇒ 約15倍速 ⇒ 約50倍速
　多画面表示時：通常速度 ⇒ 約4倍速 ⇒ 約12倍速 ⇒ 約40倍速

アラーム、エラー発生時には

アラームやエラーが発生すると、アラーム動作やエラー動作が実行されます。

アラーム動作、エラー動作を解除する

アラーム発生中に･･･



1 **前面パネル** ［アラーム］ボタンを押す

または

マウス ライブ監視メニューまたは検索メニューの（アラーム復帰）を選択する

⇒ アラーム出力と内蔵ブザー出力を停止します。

録画画像をＵＳＢメモリーにコピーする

クリップコピー画面で録画範囲などを指定して録画映像をUSBメモリーにコピーします。

開始・終了日時を指定してコピーする

ライブ監視モード中に･･･

1 **前面パネル** ［コピー］ボタンを押す

または

マウス 検索メニューの（保存）➡「クリップコピー」を選択する

⇒ クリップコピー画面を表示します。

2 コピーするための以下の情報を入力する

①「開始・終了」で時間を時間範囲指定する
②「チャンネル」でカメラを指定する
③「パスワード」で再生時に必要なパスワードを入力する
④「コピー先」で保存するメディアを選択する
⑤「ファイル名」で保存ファイル名を指定する

3 「開始」を選択して、USBメモリーのデータ容量確認画面の「継続」を選択する
⇒コピーを開始します。

●データ容量確認画面で「キャンセル」を選択すると、コピーを終了します。
「閉じる」を選択するとコピーを継続したまま画面を閉じて他の機能を使用することができます。
（コピー完了時に確認画面を表示）
●一回の指定でコピーできるデータサイズは30GBまでです。2GB単位でファイル保存されます。
●コピー中は、USBメモリーを外さないでください。

<u>コピーした映像の再生方法</u>
再生は本機またはUSBメモリーを認識可能なPCで行います。実行ファイル（EXE）形式で保存されるため、PCに専用ビューワーは不要です。

A-Bクリップコピーでコピーする

再生映像を見ながら開始日時(A)と終了日時(B)を指定して、USBメモリーにコピーします。

1 **前面パネル** 再生中に［コピー］ボタンを押す（一時停止、表示） ⇒開始日時(A)が指定される
→ 再生再開後［コピー］ボタンを再度押す ⇒終了日時(B)が指定される

または

マウス 再生中に検索メニューの（保存）➡「A-Bクリップコピー」を選択する（一時停止、表示） ⇒開始日時(A)が指定される
→ 再生再開後「A-Bクリップコピー」を再度選択する ⇒終了日時(B)が指定される

⇒ クリップコピー画面（指定した開始・終了日時）を表示します。上記手順２以降を実施。

ワンタッチクリップコピーでコピーする

USBメモリーの残容量に合わせてコピーします。

1 **前面パネル** ［コピー］ボタンを3秒以上押し続ける

⇒ クリップコピー画面（最新録画映像を終了日時に設定し残容量からコピー範囲を自動計算）を表示します。上記手順２以降を実施。